

1. 対象技能実習生

氏名	LE QUANG KHAI	性別	男 女
生年月日	1992 年 10 月 15 日	国籍・地域	ベトナム
実習実施者	株式会社 瑞工	監理団体	IBS事業協同組合 ※ 団体監理型の場合のみ記入すること。
職種・作業	工場板金・機械板金作業		

2. 技能実習実施状況

	2015 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実習予定日数	20	21	24	23	18	23	22	19	22	23	21	22
出勤日数	19	21	23	23	18	23	22	19	21	23	21	21.5
出勤率(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
欠勤日数												
有休取得日数	1		1						1			0.5

	2016 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実習予定日数	20	21	23	22	19	23	21	20	23	22	23	21
出勤日数	19	20	22	16	19	23	21	20	23	21	23	21
出勤率(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
欠勤日数												
有休取得日数	1	1	1	6						1		

合計	実習予定日数	516 日	出勤日数	502.5 日	出勤率	100.0 %
			有給休暇	13.5 日	欠勤日数	0 日

3. 技能検定・技能実習評価試験

試験名・試験実施団体	基礎2級検定 愛知県職業能力開発協会					
受検日	2015 年 1 月 20 日	可否	合格	・	不合格	
未受検の場合はその理由						

生に関する評価調書

4. 技能実習指導員の所見

所見	入国当初から日本語は多少理解していました。配属された曲げ加工作業では、慣れない作業の為、曲げ加工機等の取り扱いにとまどいが見られ、指導員による指導もなかなか身につかない様子でしたが、指導されたことは必ずノートにメモを取るなど前向きな姿勢が見受けられた。入国後半年を過ぎたころには作業現場における日本語にも慣れ、初歩的な作業であれば特段の注意等をせずとも問題なく作業できるよう成長しました。2年目に入ってからからは本人も自信が芽生えてきたのか作業に積極性が見られるようになり、通常は時間をかけて指導する困難な曲げ加工も早く習熟するなど技能の著しい向上がうかがえるようになりました。3年目に入ってからからは前年にも増して意欲ある技能実習への取り組みが見られ、工作図に忠実な作業を徹底した上で、スピードや出来映えも意識した作業を行っていました。日常の業務においては、熟練工と変わらない程度の技能を習得し、工場板金・機械板金作業基礎級に合格しました。また、作業にあたり安全衛生、災害防止の対策についての日本語での指示を正しく理解しながら事故なく適切に行っていました。
----	---

※ 技能実習においてどのような技能を修得し、現在、何がどの程度できるか等について、日本語能力にも触れながら具体的に記載すること。

5. 生活指導員の所見

所見	入国当初より日本語能力は高く、技能実習指導員による指導もある程度理解していました。昼の休憩や勤務終了後の時間にも積極的に日本人に話しかけ、日本語を学ぶ姿勢が見られました。生活指導員としても慣れない環境やホームシックを心配していましたが、自信なさげな様子もなく生活していました。入国後半年を過ぎたころからはさらに日本語能力が上がったこともあり、技能実習生同志だけでなく日本人の同僚とも談笑するなど実習中やそれ以外の生活の場でも笑顔が見えるようになってきました。また、後輩の技能実習生の悩みや相談事を受けるなど技能実習生のリーダー的存在として充実した技能実習生活を送っていました。もともと大人しい性格であるのか、日常生活においても特段のトラブルを起こすことなく、ゴミの分別ルールなども理解しており、夜中まで遊んで技能実習に支障を来すなどの問題行動も見られませんでした。2年目を過ぎた頃にはアパートの近所の方とも積極的に挨拶や会話を交わすようになり、会社の先輩と地域のお祭りに参加し、地域コミュニティの中にすっかり溶け込み、安心して見ていられるようになりました。
----	--

※ 生活態度等について、日本語能力にも触れながら具体的に記載すること。

6. 技能実習責任者の所見

所見	技能実習指導員の所見にもあるとおり、当初は技能習得に伸び悩みが見られたものの日本語能力の向上に伴い指導内容がよく理解できるようになったのか急速に高い技能習得を見せ始め、通常なら習得することが困難な作業も他の技能実習生よりも早く身につけるなど、その習得レベルは高く評価できる。業務においては熟練工と変わらないほどの優秀な勤務成績を示しており、生活面においても特段の問題行動は見られずむしろ1年を過ぎたあたりからは周囲に積極的に溶け込む姿勢を見せ始め、元来の真面目な性格もあってか同僚や地域住民とも非常に良好な関係を築いていた。これらのことから、本表の技能実習生の技能実習は成功例のひとつとして高く評価できるものである。
----	--

7. 監理責任者の所見

所見	
----	--

※ 上記4～6の各所見及び定期監査等における本人との面談等を踏まえた総合的な評価を記載すること。

上記の内容について、事実と相違ありません。

令和2年 11月 28日

実習実施者 株式会社 瑞工



技能実習責任者 高木 潤



監理団体 IBS事業協同組合 中部支部

印

監理責任者

印